

自治連だより川越



- 発行—川越市自治会連合会
- 事務局—川越市役所 地域づくり推進課内
川越市元町1-3-1 Tel 224-5705(直通)
- ホームページ <https://kawagoejichiren.jimdo.com>

主な記事

2面…第11支会の紹介
「緑の募金」の報告と御礼
編集後記

川越市自治会連合会会長 本間 幸治



皆様、明けましておめでとうございます。日頃から、川越市自治会連合会に対しまして、多大なるご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、なかなか地域活動も行えず、川越市自治会連合会においても例年実施してまいりました様々な事業が中止となりました。各自治会におかれましても、新しい生活様式の実践や書面総会等、例年とは異なる対応にご苦労されたことかと存じます。緊急事態宣言の際には、不要不急の外出や、県をまたぐ移動が制限されました。心細い思いをされた方もいらっしゃるかと存じます。そのような時こそ、身近な自治会を頼っていただき、隣近所とのつながりを再認識していただくことが重要であると考えます。

昨年は幸いにも、大きな台風被害や地震等の被害はありませんでした。しかしながら、有事はいつやってくるか分かりません。今後とも、隣近所とのコミュニケーションを取りながら、自助互助の精神をもって、心穏やかに過ごしていただきたいと思います。

結びに、皆様方のさらなるご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

川越市長 川合 善明



明けましておめでとうございます。自治会の皆様方には、日頃から市政各般に対しまして、深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の発生により、生活様式が大きく変わった年となりました。各自治会の皆様方におかれましては、市内の感染症拡大防止にご協力いただきまして、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の先の見えない状況の中、地域で最も身近な自治会の存在は非常に心強く、地域の皆様とのつながり・絆がとて大切であると感じております。

さて、昨年6月には川越駅西口の新たな顔として複合施設「U PLACE」がオープンし、市民の皆様への利便性の向上とにぎわいの創出を図ったところです。令和4年には、市制施行100周年を迎えることから、今後とも川越市自治会連合会をはじめ、自治会の皆様には、地域コミュニティの核として、なお一層のお力添えを賜りたいと存じます。

結びに、川越市自治会連合会がますます充実、発展されますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい一年になりますようご祈念申し上げ、ごあいさついたします。

シラコバト賞を受賞

今年度のシラコバト賞（埼玉県知事賞）は、下記の個人5名及び2団体が受賞されました。おめでとうございます。順不同、（ ）は支会名又は所属団体名

個人の部

- ・鷺田 由美子さん（第4） ・荒瀬 松實さん（福原） ・虫本 敏幸さん（福原）
- ・杉原 浩二さん（埼玉県なわとび協会会長） ・森田 洋子さん（川越市食生活改善推進員協議会副会長）

団体の部

- ・高階南ハーモニカサークル ・福田獅子舞保存会

第 11 支会の紹介

川越市に自治会連合会が発足した昭和 43 年に、新宿町の自治会と岸町の自治会が川越市自治会連合会第八支会として組織されました。平成 11 年、新宿町の世帯数が増えたことにより新宿町の自治会は、岸町の自治会と協議のうえ、第八支会より分離独立し、川越市自治会連合会第十一支会を設立して現在に至っています。



第十一支会の令和 2 年 10 月 1 日現在の総世帯数は、5,656 世帯で、人口は 11,654 人となっています。昨年同期と比較すると世帯数では 65 世帯増加したのに対し、人口では 4 人減少しています。また、男女の内訳では、男性 5,759 人、女性 5,895 人となっています。なお、令和 2 年 1 月 1 日における 75 歳以上の割合は 11.82% で昨年同期に比べ 0.6 ポイント上昇し、年々後期高齢者の割合が増えている状況です。

第十一支会で実施しているイベントには「地域ふれあいまつり」があります。今から 8 年前、町内の子ども、大人、お年寄りが一堂に会し、ふれあいを深め、秋の一日を皆で楽しもうとの目的で新宿小学校の施設を借用し開催したのが始まりです。内容は年ごとにバージョンアップされています。昨年度の内容は、非常時における緊急避難訓練、プロ指導者によるラジオ体操会、小学生の金管バンド・合唱、昔遊び、高校生による演劇、ヘルスチェック、AED 講習、自転車シミュレーター・自転車 VR 事故体験、高齢者の自転車教室、野球教室、新宿小学校 PTA バザー、模擬店コーナー、ポップコーン、駄菓子屋横丁、スタンプラリー等でした。これらのイベントは川越市役所、川越警察署、川越市保健所、川越市社会福祉協議会等の協力のもとに成立しています。令和 2 年度は新型コロナウイルスの関係で開催できませんでした。

皆様ご存知のように、2025 年には 4 人に 1 人が 75 歳以上になるといわれています。それは、多くの高齢者が数少ない若い現役世代に支えてもらうということです。今後私たちは、現役世代に負担をかけないために、常日頃から健康管理に努め、できるだけ身体を動かし、多くの人と接触して生活することが肝要かと思っています。

「緑の募金」の報告と御礼

コロナ感染拡大下にもかかわらず、皆様のご厚意により、令和 2 年緑の募金は 772 万 978 円に達しました。ご協力ありがとうございました。(公社) 埼玉県緑化推進委員会からは、募金額の 10% が自治会連合会へ、50% が川越市に交付されます。自治会館等の緑化を希望する場合は、**川越市環境政策課 みどりの担当 (電話 224-5866)** までお問い合わせください。

編集後記

近頃は、三密は回避する、マスク着用、検温、手洗い(消毒)は当たり前で、自分がいつコロナに感染するか不安を覚える毎日です。自治会活動は、何をやるにもコロナ対策が最優先となり、いろいろな行事が中止を余儀なくされました。今は感染予防に努め、少しずつ手探り状況で再開した活動も見受けられるようです。

一方では、自治会員の高齢化のためか、班長さんより回覧がなかなか戻ってこないという声を耳にします。隣近所の方に何も話さないうちに施設入所されたり、入院されていたとのこと。昔から言われている「向こう 3 軒両隣」という言葉にあらわされるように、いつ何時でも近所のコミュニケーションは、お互いに必要なものと思われま。 (K.K)